

## < 旧中村家住宅 >

### 事業概要

- ・建物は、江戸時代前期から中期の特徴を示す町家形式（棟割り長屋）の建物です。
- ・中村家は、初代高遠町長を輩出し、中村不折とも縁のある家です。
- ・JRバスの高遠駅に近く、周辺には、神社仏閣、旧池上家、旧馬島家といった歴史的建造物のほか、高遠石工の石仏等が点在している。「高遠の文化と歴史的素材（構成要素）」をつなげることにより、人々が集う拠点を目指します。

### 【建物と土地】

平成28年12月所有者（埼玉県所沢市在住）から土地及び建物を寄附受納

建物（木造住宅1階建＋土蔵2階建） 延床面積258.67㎡

土地 812.59㎡

その他書籍、調度品等も寄附受納

書籍（明治初期からの法律書、洋書等 約2500冊）

調度品等（漆器、陶器類）、江戸時代古文書、美術工芸品等約2000点

### 【施設の整備事業】

- ・耐震診断業務委託（H29.2.24～H29.4.28）
- ・耐震補強工事及びリニューアル工事（H29.9.25～H30.3.30）
- ・外構ほか工事（H30.5.28～H30.7.10）

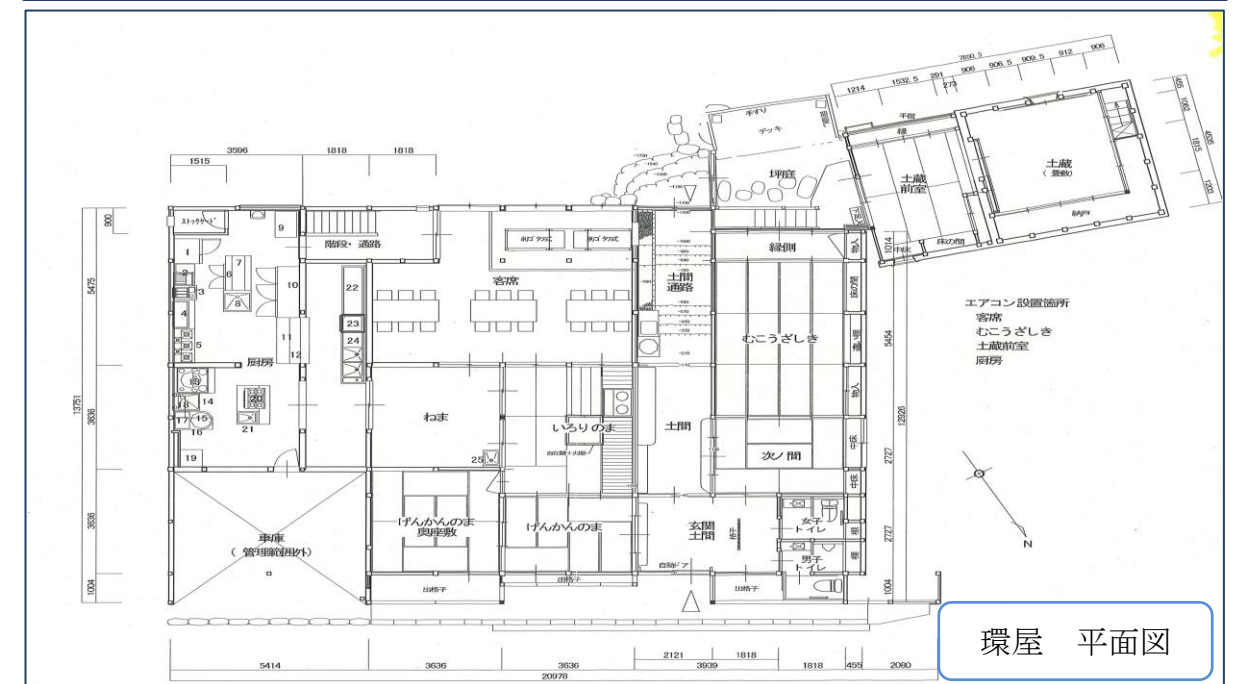
旧中村家住宅の整備

・耐震診断、設計・監理業務委託	8,467千円
・耐震補強工事、リニューアル工事、外構工事	115,387千円
総事業費	123,854千円

地方創生拠点整備交付金を活用

### 【施工業者】

耐震診断、設計・監理 株式会社 匠・しょう・建築事務所  
 工事施工 西武建工 株式会社



### 【建築史資料調査 平成28年3月】

信濃建築史研究室 博士（工学） 吉澤正己 氏による調査

- 江戸時代前期から中期の特徴を示す建物で、享保9年（1724年）以前の建築と考えられる。
- 18世紀前期まで遡る農家は県内に何軒かあるが、町家ではここまで古い建物は稀であり、極めて貴重な建築といえる。
- 建物の内法高は、5尺6寸（1,697mm）というかなり低い高さで、江戸時代前期から中期の特徴を示している。